

鈴木崇朗 bandoneon
福井浩気 guitar
会田桃子 violin

2026 01月10日 (土)
開場 12:30 afternoon live
開演 13:00
(2ステージ入替無) (1drink=600)
MC=3700+2drinks order

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



福井浩気

2009年に渡仏し、ジュディカエル・ペロワに師事のもと、オルネー＝スー＝ボワ県立音楽院（パリ近郊）にて音楽研究資格、オー＝ド＝フランス高等音楽学校（リール）にて国家音楽家専門資格及び国家音楽教育資格を取得。在仏時には、リール近郊の音楽学校で約4年間ギター講師も務める。第38回神奈川新人ギタリストオーディション首席、第52回東京国際ギターコンクール5位、第23回名古屋ギターコンクール4位、第61回九州ギターコンクール3位、第6回ベスカラ国際ギターコンクール（イタリア）2位、ジェゴ・トロスマンやシロ・ペレス各氏の指導を得て、アルゼンチンタンゴの追求も行う上、ルーズ・ジャリュ（バンドネオン）と「Duo FUKUI-JALLU」を結成し、ミュールーズのタンゴフェスティバル「Le Printemps du Tango」やパリの「Tango Paris Banlieues」等に出演する他、フランス国内で多数演奏活動を行う。2017年に、アルバム「Ars Moderna」をKlartheよりリリース。現在は多数の教室で指導するほか、これまでに、小松亮太、北村聡、仁詩、早川純（バンドネオン）、桑山哲也、佐藤芳明、青木まさひろ（アコーディオン）、近藤久美子（バイオリン）、KaZZma（ボーカル）、押尾コータロー、沖仁、ミルタ・アルバレス、グスタボ・エイリス（ギター）等国内外のミュージシャンと共演しアルゼンチンギター音楽の普及に努めている。

鈴木崇朗

札幌出身。東京藝術大学薬理科卒業。バンドネオンを小松亮太氏に師事。小松亮太 & オルケスタティビカのメンバーとして南米ツアーに参加。単身アルゼンチンに留学し、オスバルド・モンテス氏、フリオ・パネ氏、ネストル・マルコーニ氏に師事。また、アルゼンチンでの様々なタンゴフェスへ参加。2014 年、2015 年とアンドレス・リネツキー楽団のメンバーとして国内ツアーに参加。また、2024 年にはエミリアーノ・グレコ楽団のメンバーとして国内ツアーに参加。日本テレビ系連続ドラマ『家売るオンナ』(2016 年)、『35 歳の少女』(2020 年)、フジテレビ系連続ドラマ『10 の秘密』(2020 年)、NHK 大河ドラマ『鎌倉殿の 13 人』(2022 年) 等、ドラマ、アニメの劇中曲の演奏に参加。自身のタンゴバンド「鈴木崇朗 cuarteto」を主宰し、2020 年に 1st アルバム『Toda mi vida』を発表。また、小松真知子 & タンゴリスタル、小松亮太 & オルケスタティビカ等で活動中。現在国内外でのコンサート、レコーディング等で活躍中。

会田桃子

横浜市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。在学中よりアストル・ピアソラやアルゼンチンタンゴに興味を持ち、バンドネオン奏者小松亮太氏のタンゴバンド「小松亮太&ザ・タンギスト」でタンゴの演奏を始める。卒業後は小松氏のバンドで数年間ソロバイオリン奏者を務め、国内外のコンサートで活躍。その後度々本場ブエノスアイレスを訪れ、現地のミュージシャンたちとのライブや、ブエノスアイレス市立タンゴオーケストラ学校への短期入学などで研鑽を積んだ。現在、アルゼンチンタンゴプレーヤーとしての活動を軸に、ジャズ、ポップス、シャンソン、ラテンなど、様々な音楽シーンでソロバイオリニストとして活躍しており、即興演奏にも定評がある。また、自身主催の舞台では、ヴォーカルは会田が務め、歌手としても活動中。作編曲家としても活動しており、アーティストへの楽曲提供などもしている。